

令和 6 年度

特定非営利活動法人
岡谷市手をつなぐ育成会

事 業 報 告

令和 6 年度特定非営利活動法人 岡谷市手をつなぐ育成会 事業報告

多機能型事業所エコファおかやは、継続して就労継続支援 B 型事業、生活介護事業を行っています。就労継続支援事業は定員を超える 34 名の利用者が通っており、障害のある方の仕事も切れることなく取り組んでいます。生活介護事業は定員通りの登録がありますが、実際には一日平均の利用が 4.3 人であり、もう 1 名の利用が望まれます。

共同生活援助事業所ポムの家は 5 名の定員通りの利用です。ひとり一人のニーズに合った利用があり一日の平均利用は 4.9 人となっている。

就労継続支援 B 型事業の利用者さんの平均工賃は 17,507 円となりました。しかし、令和 5 年度の長野県の平均工賃 23,301 円、令和 5 年度の全国の平均工賃 23,053 円に届くまでにはまだ遠い道のりだと思われます。障害基礎年金だけでは一人暮らしは難しく、今後も月平均 30,000 円の工賃を目指して仕事探し、取り組み方法の検討を続けていかななくてはなりません。

生活介護事業所は、就労継続支援事業の利用が難しくなってきた方や、行動の障害がある方、重度の障害の方などの利用ニーズも多いだけでなく、諏訪の圏域に生活介護事業所不足が言われている中、体制や職員の支援力の向上がますます求められているところです。

共同生活援助事業所 ポムの家は定員 5 名の利用が継続しています。入居中の利用者さんの障害程度区分の変化により今後、スプリンクラーの設置も必要になってくるものと思われます。

【 法人業務 】

〈 定例会議 〉 総会。理事会。事務局会議、法人監査

令和6年 5月27日 法人監査

令和6年 5月30日 理事会令和5年度事業報告・決算報告

令和6年 6月 9日 法人総会令和5年度事業報告・決算報告

令和6年 11月28日 法人理事会中間決算報告

令和7年 2月27日 法人理事会令和6年度事業計画・予算立案

令和7年 3月 9日 法人総会令和6年度事業計画・予算の承認

〈 職員会議（事業所職員） 〉

虐待防止のための研修会など

主任会議

- ・ 各事業所の動向、共有すべき課題等を検討した

ポムの家スタッフ会議

- ・ 毎月月末に開催し、勤務について、利用者さんの状況について職員間で共有し、課題を検討した。

【 多機能型事業所（指定障害福祉サービス事業所エコファおかや）事業 】

〈 全体のふりかえり 〉

時々コロナ感染者がみられたものの一度に大勢の感染はみられなかった。利用者の権利擁護、個別支援を充実し、利用者が安心して通い収入を得る場、手応えを感じながら過ごせる日中活動の場として個々のニーズにあった支援を手にする場として機能するよう努めてきた。

利用者さんの利用率の高いことから本人からは一定の評価を得ていると思っている。

〈 就労継続支援 B 型事業 〉

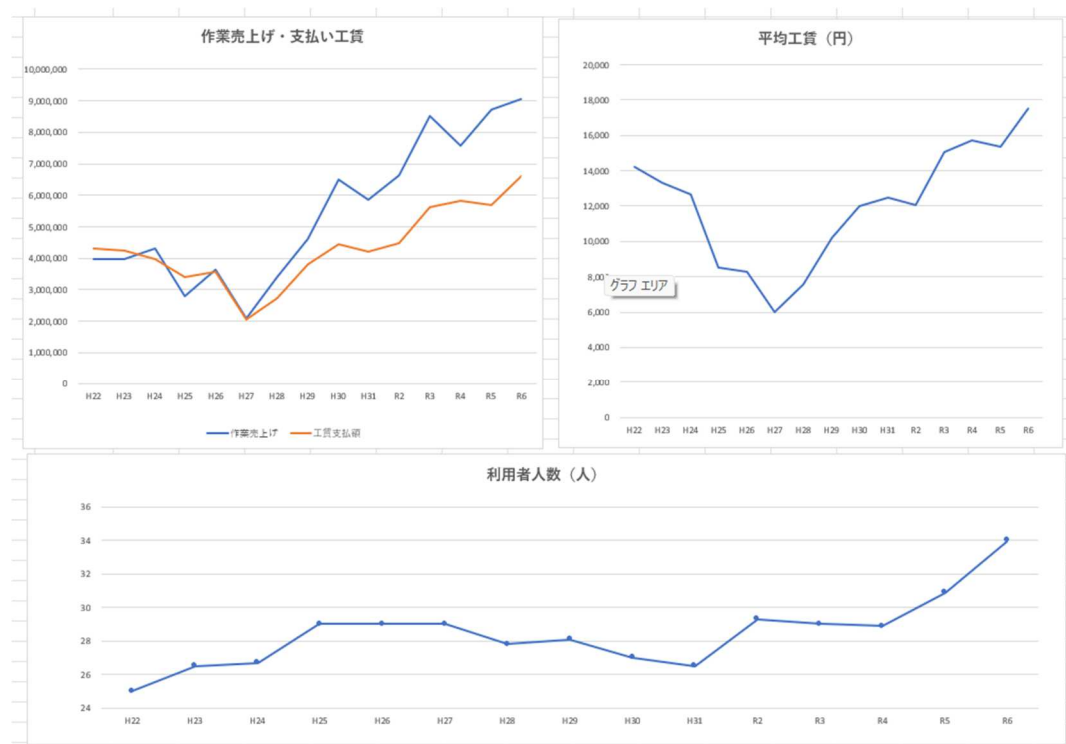
働く手応えと、生きがい、生活していくための収入を得られるようにと、利用者本人だけでは十分に行えない作業も、職員が補い支えることで完成できるよう支援してきている。

大きな柱一つ、農業は職員の対応力不足のため十分な収益にはつながっていない。主力のトウモロコシ、サツマイモは安定した収益を上げているが今後の継続については検討が必要なところ。

2 つめの柱、清掃業務を中心とした施設外就労は 6 年度当初より始まった公立保育園おむつ回収のおかげで増収となった。

3 つめの柱であるリサイクル作業は、パソコンの回収台数が劇的に伸びており、売り上げが増加している。

そのほか受託製品加工・自主製品等については、仕事が切れないように続いているが、工賃アップにつながるほどの金額には届かない。手応えを感じ働く場としては充足されてきていると思われるが、暮らしを支えるための金額にはまだまだ届きそうない。



施設外就労件数

月	件数/月	場 所	回数(通年)
令和6年4月	198 件	工業技術センター	26 回
5 月	215 件	サンサンワイナリ(ブドウ畑)	277 回
6 月	205 件	OSB(草取り)	29 回
7 月	234 件	岡谷技専(草取り)	100 回
8 月	187 件	合庁掃除	135 回
9 月	194 件	市役所掃除	954 回
10 月	248 件	蚕糸公園掃除	157 回
11 月	204 件	高林農園(援農)	90 回
12 月	167 件	林紙器製作所	89 回
令和7年1月	182 件	小井川区民会館・平成会館	443 回
2 月	173 件	蚕糸公園	157 回
3 月	190 件	おむつ回収	97 回

合計 2,397 回

就労継続支援B型事業

住所地

岡谷市	下諏訪町	諏訪市	合計
32	1	1	34

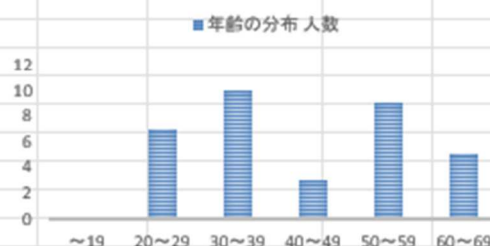
年齢の分布

年齢	人数
～19	0
20～29	7
30～39	10
40～49	3
50～59	9
60～69	5
	34

平均年齢

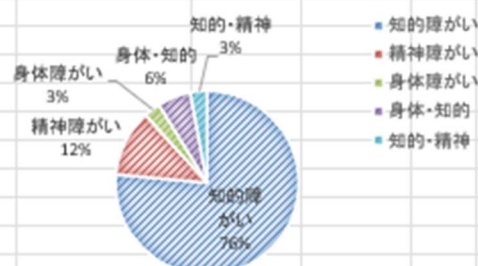
45 歳

B型利用者年齢の分布



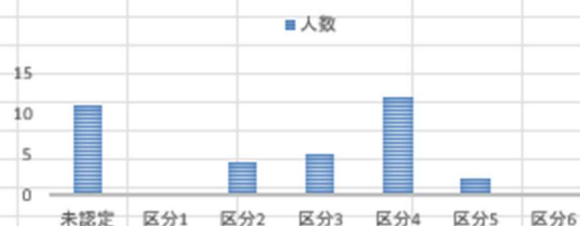
利用者の障がい

障がい	人数
知的障がい	26
精神障がい	4
身体障がい	1
身体・知的	2
知的・精神	1
	34



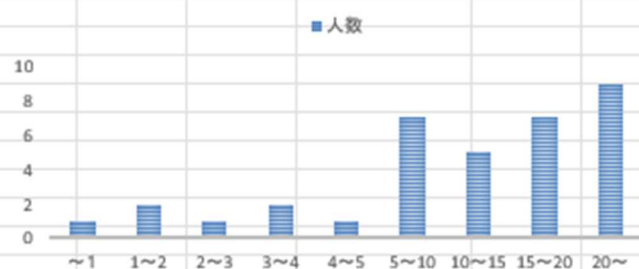
B型利用者の支援区分

支援区分	人数
未認定	11
区分1	0
区分2	4
区分3	5
区分4	12
区分5	2
区分6	0
	34



B型利用者の利用年数

利用年数	人数
～1	1
1～2	2
2～3	1
3～4	2
4～5	1
5～10	7
10～15	5
15～20	7
20～	9
	35



工賃向上計画(令和6年度～8年度)

4 3か年(R6～R8)の計画

事業所名	指定障害福祉サービス事業所エコファおかや		
項目	R6年度 (実績)	R7年度 (目標)	R8年度 (目標)
目標工賃達成のための具体的方策、戦略方針	新規作業が始まり、一気に100万円の収入が増えた。そのため近年にない大幅な工賃アップが叶えられた。わずかながら、各受託作業の単価見直しもあった。	現在問い合わせを受けているメガスールの端末の回収が予定されている。対応できる利用者や職員を増やし対応を進めていく。パソコンのリサイクルに関連する手数料が増額されることもあって、不安がない訳ではない。	岡谷市DX推進室より、市役所内のパソコンの入れ替えの情報が入っている。地元市町村の動向を把握し回収量を増やしていく。
①工賃支払総額	6,596,770	6,900,000	7,200,000
②年間延べ利用者数	7,929	7,950	7,950
③年間開所日数	253	253	253
④1日当たりの平均利用者数 (②÷③)	31.4	31.5	31.5
⑤年間開所月数	12	12	12
目標月額平均工賃額 (①÷④)÷⑤(月)	17507	18254	19048
時間額(時給額)	180	193	206

参考

前年度の 月額平均工賃目標額	15707	前年度の 月額平均工賃実績額	17507
-------------------	-------	-------------------	-------

工賃実績(時給換算)			①工賃支払総額	②1日当たりの平均利用者数 前年度の延べ利用者数/前年度の年間開所日数	③開所月数	平均工賃月額実績(厚労省報告用)
対象者数(延人時)	工賃	時給換算額①				工賃支払総額/1日当たりの平均利用者数/開所月数 ①/②/③
36719	6596770	180	6,596,770	31.4	12	17507

〈 生活介護事業 〉

支援を含んだ環境のなか自立した暮らし送れるように、また家族が安心して働けるためになど多層的な利用ニーズがある。利用者さん個々の特性の違いから支援の方法もひとり一人違っている。それぞれの利用者さんのそれぞれのニーズを考慮した支援が十分に提供できているのかははっきりとわからない。表現が十分ではない利用者の満足度を上げることは非常に難しさを感じるところです。

令和6年度より、生活介護事業はそれぞれの利用時間に応じて報酬単価が設定されることになっています。基本が一日8時間ということですが、常勤職員の一日の勤務時間が8時間となっているので、エコファおかやでは7時間が利用時間の基準となっています。

諏訪地域では生活介護事業所が足りないといわれているなかで、事業所としてより支援力を高め、利用ニーズに合った障害福祉サービスが提供できるようになることは、喫緊の課題です。

生活介護事業

令和7年5月14日 現在

住所地

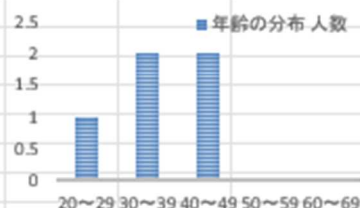
岡谷市	下諏訪町	合計
5	1	6

年齢の分布

年齢	人数
～20	1
20～29	1
30～39	2
40～49	2
50～59	
60～69	

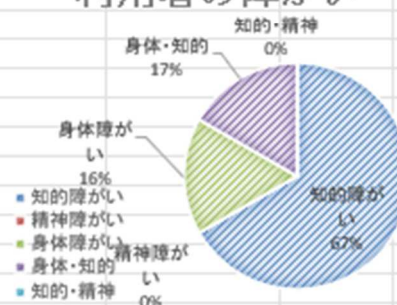
平均年齢
30.4 歳

生活介護利用者年齢分布



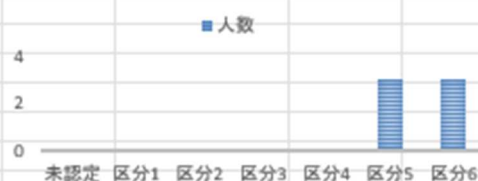
障がい	人数
知的障がい	4
精神障がい	0
身体障がい	1
身体・知的	1
知的・精神	0

利用者の障がい



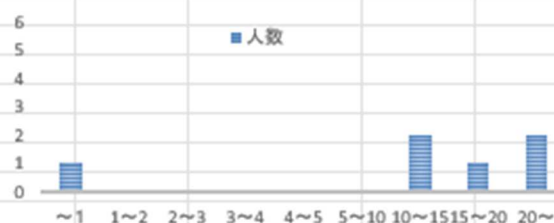
支援区分	人数
未認定	0
区分1	0
区分2	0
区分3	0
区分4	0
区分5	3
区分6	3

生活介護利用者の支援区分



利用年数	人数
～1	1
1～2	0
2～3	0
3～4	0
4～5	0
5～10	0
10～15	2
15～20	1
20～	2

生活介護利用者利用年数



〈 エコファおかやの業務管理 〉

○ サービス管理

- ・ 利用者それぞれのニーズに合った個別支援計画を作成し、支援の方法を共有する

個別支援計画に基づきモニタリングを実施した。

相談支援専門員とともにサービス等利用計画との調整を図るため、サービス調整会議等に
参加してきている。

○ 防火・防犯・緊急対応

- ・ 法定点検、法定訓練など災害時を想定した対応を続けている。
- ・ 緊急時の稼働に問題は無いかマニュアルの見直しを随時行っている。

○ 苦情解決

1、業務内容

- ・ 第三者委員を開催し、受付苦情について報告し、対応策などについて意見を伺った。
- ・ 利用者さんの呼び方について基本的には「～さん」とすることが望ましいと思われるが、関係性を考えると難しい面があるのではないかという意見をいただいた。
- ・ 利用者利用者家族他からの苦情を受けつけた。受付件数 0 件

令和6年度エコファおかやは受付苦情がなかった。

○ 虐待防止委員会・身体拘束検討委員会

常勤職員全員の終礼時、ボムの家スタッフ会議で、障がい者虐待についての勉強会と日々の対応について振り返りを行ってきた。通報事案はなかったが、対応など反省する必要がある事案もあった。

○ セクシャルハラスメント防止

同性介助をできる限り行っていく。男性支援者に対応をしてもらう協力体制も作ってき

ている。

○ 健康管理

- ・ 職員、通所者の健康を管理観察し、必要なときには受診の促しや検診をすすめる対応を行ってきている。

接種をすすめていただくために、接種費用は嘱託医または個人の主治医を問わず一部をエコファで負担させていただいている。

○ 外部機関事業所との協力、ネットワーク

- ・ エコファおみや業務に関わる必要な会議への参加をしている。

見学者、実習生の受入を積極的に行ってきた。定員がいっぱいなため利用につながらないが、事業所の風通しを良くするためにも積極的に対応している。

○ 研 修

- ・ 職員のキャリアアップのための研修、職員の希望や必要に応じ事業所内外の研修に参加し生活・就労支援についての知識を得ると共に日頃の業務に生かせるように対応している。

○ 日中一時支援事業(タイムケア事業)

- ・ 事業所の営業時間を過ぎる支援の対応や週末の余暇支援のため各市町村のタイムケア事業を活用し、時間単位で支援させていただいている。

○ 昼食斡旋

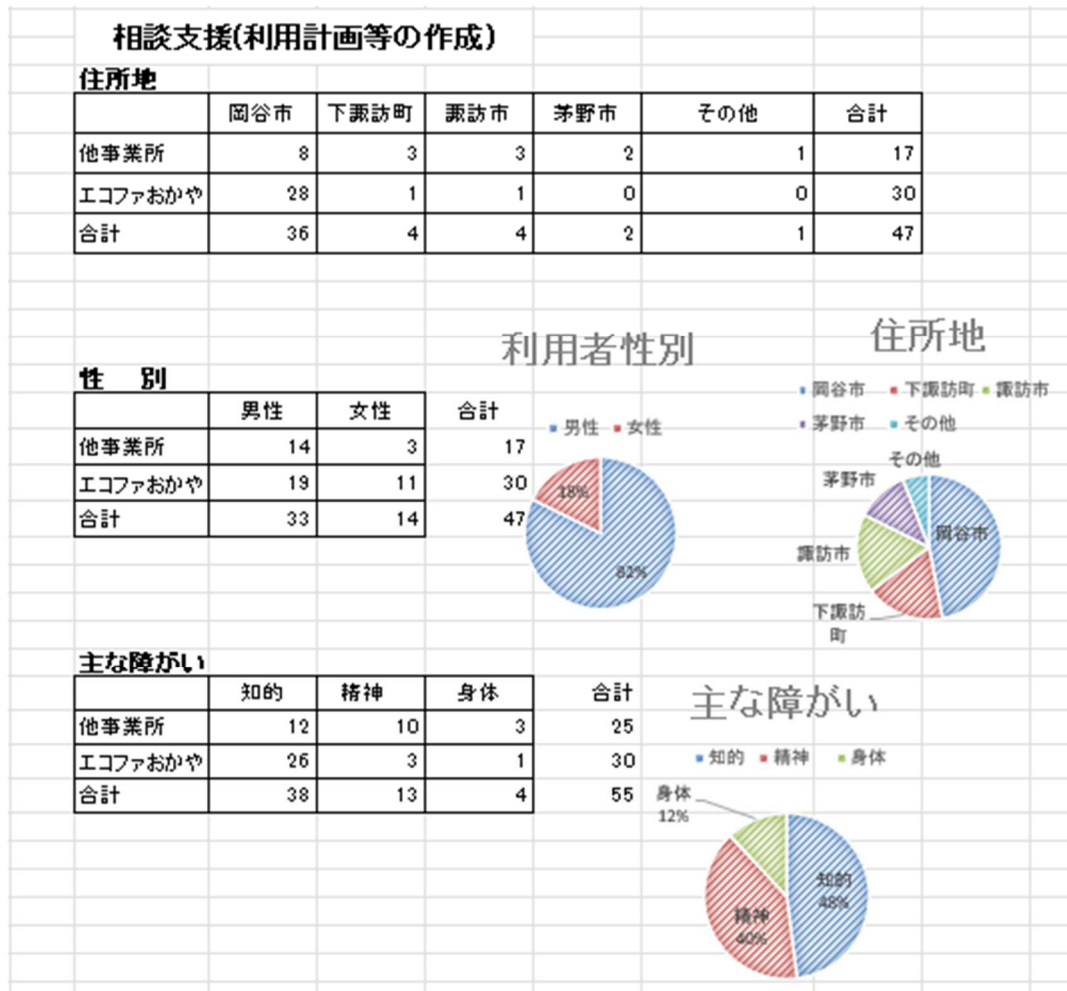
- ・ 昼食を希望する方に対し、弁当の注文を仲介している。
- ・ 当日朝9時30分までに注文またはキャンセルを行うため、定期的に注文されている方のキャンセルや、急遽注文をする方に対応している。

○ 利用者送迎

- ・ 希望者に対し送迎サービスを実施している。

【 相談支援（エコファ相談支援事業所）事業 】

エコファおかや通所利用者 30 名、諏訪地域において計画作成が必要な方 17 名に対し計画作成などを行った。計画相談 47 件、モニタリング 105 件



【 エコファおかや短期入所事業 】

短期入所事業は公にしておらず、エコファおかや利用者に限定している。ため、利用された方は年間つうじて誰も居ませんでした。

【 共同生活援助（ボムの家）事業 】

利用者の顔ぶれも変わらず、定員 5 名を継続して支援しています。できる限り日中のエコファおかやとは違う顔ぶれの支援者で、生活支援を行えるように配慮している。利用者の状況が日中の支援と共有できるように連絡報告など十分に行っている。

利用ニーズはあるが、民間企業の参入もあるなかで私たち法人にできることはあるのか、たとえ 1 名でも定員を増やすことが可能かなど、検討の余地はある。

○ 苦情受付状況

- 1、（ご家族より）夏期、本人の部屋に暖房が入っていた。（職員の確認不足、利用方法や確認方法について確認した。）
- 2、（ご家族より）インターフォンを押すが返事がない。（職員の聞こえに問題があったため、当該職員に補聴器の利用をしてもらうことにした）
- 3、（利用者さん本人より）ヤクルトを飲もうとしたら「遅い」と言われた。（賞味期限切れの物を飲もうとしているため、助言したことが、本人には時間が遅いからダメだと聞こえたらしい。ご家族には、期限切れの可能性のあるものは引き上げてもらうようお願いした。）・・・基本的に期限切れの物は摂らない事で確認。

【 ご寄付・ご寄贈 】

濱守様(金一封)、家族会様(改築改裝修繕費用積立目的)、間下区地区社協様(金一封)、岡谷市更生保護婦人会様(お米、金一封)、武井正勝様(お米)、地域の方々や家族関係者の方々よりアルミ缶、個人、企業様より使用済みパソコンや金属くずなどお持ち込みいただきました。

【 職員の動向 】

入職 令和6年 4月 1日 山田博一

令和6年 7月 3日 市瀬志乃

退職 令和7年 3月 7日 佐藤君子

資料編

信頼される NPO の 7 つの条件

- 1 , 明確なミッションを持って、継続的な事業展開をしていること
- 2 , 特定の経営資源のみに依存せず、財政面で自立していること
- 3 , 事業計画・予算の意思決定において自律性を堅持していること
- 4 , 事業報告・会計報告などの情報を積極的に公開していること
- 5 , 組織が市民に開かれており、その支持と参加を集めていること
- 6 , 最低限の事務局体制が整備されていること
- 7 , 新しい仕組みや社会的な価値を生み出すメッセージを発信していること